



西の風 Vol. 9

平成29年12月4日発行

二宮町立二宮西中学校 学校便り

発行者 松本雅志

早いもので今年も残り1ヶ月となりました。12月は「師走」と呼ばれる通り、学校も大変忙しい時期となります。3年生では、進路先の決定と願書等の書類の作成、面接練習などに追われる日々が続きます。1、2年生では期末テスト後の成績処理や三者面談など、学期末の慌ただしさがピークを迎えます。

来年の干支は「戌=いぬ」です。この「いぬ」には、「真面目・勤勉で努力家」という意味があるそうです。2018年は、生徒の皆さんもこの「真面目・勤勉で努力家」を心にとめて生活をして欲しいと思います。

◎二宮西中学校を支えて下さっている方々

一通り大きな行事も終わり、来年度に向けての準備が少しずつ進んでいます。そこで、日頃二宮西中学校のために、陰になり日向になり様々な面でご尽力いただいている方々の様子をお伝えしたいと思います。

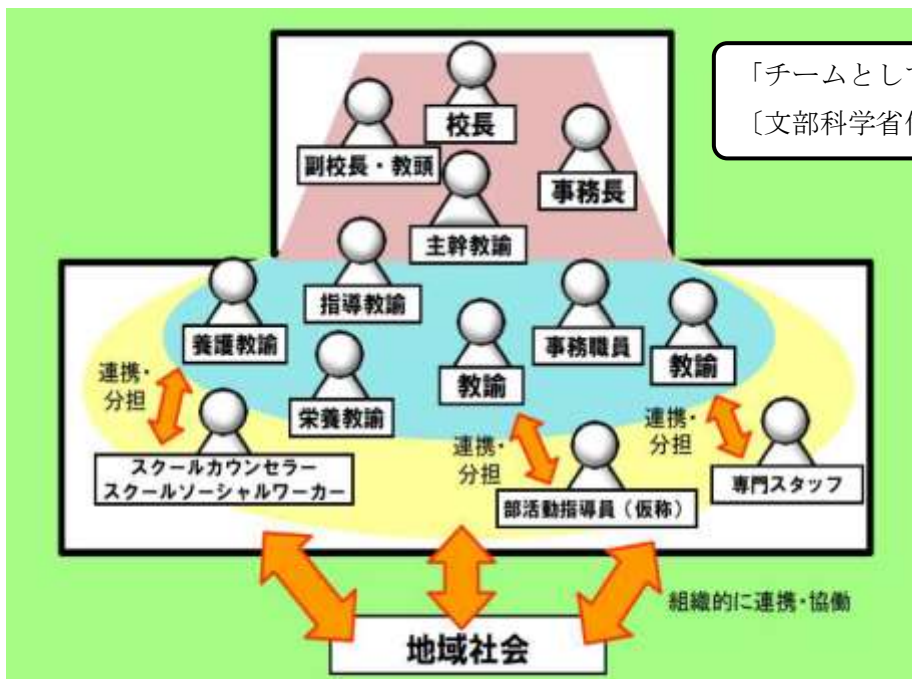
学校には常勤の教職員やPTA役員以外にもSC、SSW、図書館指導員、支援員、非常勤、ALT、学校作業員、「花の和」などの方々が生徒や保護者のみな様のために働いていられます。

SC（スクールカウンセラー）の岡本さん、SSW（スクールソーシャルワーカー）の渡部さんは、週1回来校し、生徒や保護者の悩み相談や様々な課題の解決に向けて活動されています。図書館指導員の豊田さんは、週2回来校され、蔵書の点検や学校図書の実践のために尽力してくださっています。図書だよりも発行しています。

支援員の岩本先生、石井先生、非常勤の秋元先生（数学の個別指導）、戸塚先生（日本語の個別指導）、ALTのピニャ先生はそれぞれの専門的な立場から、生徒たちに関わり、個々の状況に合った適切な支援をして下さっています。

学校作業員の天野さん、滝川さん、深澤さんは、給食の配膳の準備、トイレ掃除、校門やグラウンドの整備など様々な場面で学校内外の環境整備を行って下さっています。ボランティアの「花の和」さんは、毎月2回階段に花を飾って下さっています。入学式や卒業式などでもお世話になっています。

平成31年度には二宮西中学校もコミュニティースクールとなる予定です。地域の様々な方々の手を借りて、生徒たちの育ちを支えていくことになると思います。「開かれた学校」から「地域の学校」へ。今後とも二宮西中学校の教育にご支援とご協力の程宜しく願いいたします。



「チームとしての学校」像イメージ図
〔文部科学省作業部会事務局作成〕

「チームとしての学校」では、ピラミッド型の組織ではなく、組織に属しているそれぞれのメンバーが連携・分担し「繋がって」いくことで、個々の役割を果たしていきます。上下関係ではなく、縦横の有機的な繋がりが大切となります。